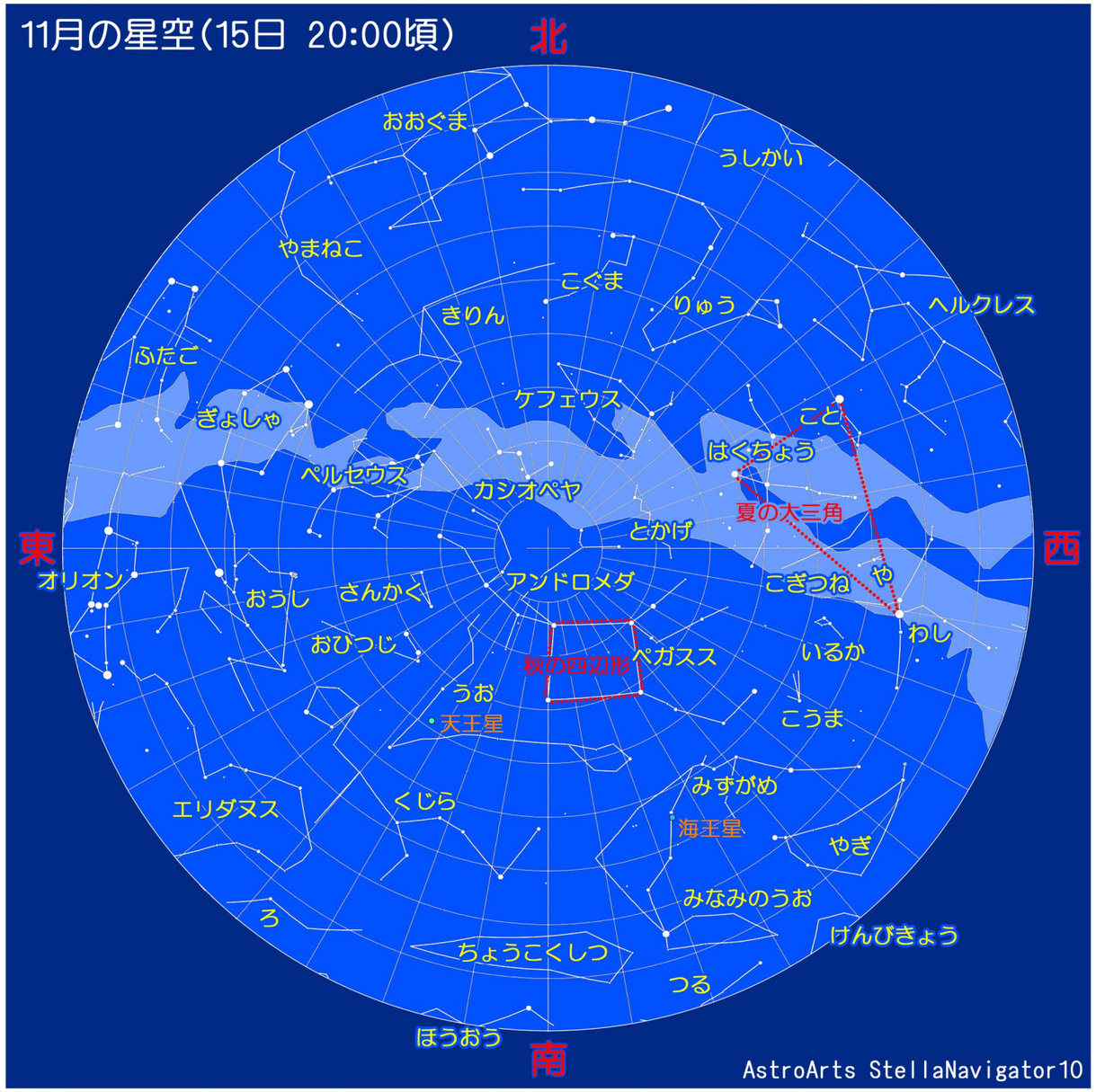
銀河の森天文台
2017年11月みどころ天体情報

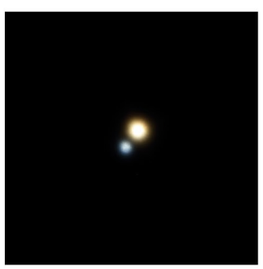


今月のイチオシ！
☆アルマク（重星）

アンドロメダの左足に位置する二重星で、最も美しい二重星の一つとされています。望遠鏡で黄色の主星と青色の伴星が寄り添っている姿を観察することができます。

この二つの星は実際にお互いの周りをまわっている連星で、しかも青色の伴星は三重連星でもあります。　距離：約394光年

※国際天文学連合（IAU）のワーキンググループにより、2016年にアルマクという名前は、主星（γ¹And）の固有名として承認されています。


アルマク

月

		出	没
4日	満月	16:36	05:31
11日	下弦	23:15	12:40
18日	新月	05:34	16:14
27日	上弦	12:24	23:42

天文台から月を見ることができるのは 1～7日頃と22～30日頃、望遠鏡での見頃は上弦前後です。

距離：約38万km

天王星・海王星

太陽系の外側から２つの惑星、天王星と海王星が見頃を迎えています。天王星はグリーンっぽく、海王星はブルーっぽく見えるのが印象的です

太陽からの距離

天王星：約29億km

海王星：約45億km

M45（散開星団）

「プレアデス星団」「すばる」と呼ばれている星団で約100個の若い星で構成されています。双眼鏡の視野に広がる姿は宝石箱のようです。枕草子に「星はすばる」と書かれているほど古くから親しまれてきた天体です。　距離：約410光年

M15（球状星団）

秋を代表する球状星団でちょうどペガスス座の鼻先に位置しています。明るく非常に密集した球状星団で望遠鏡では星が密集した様子を観察することができます。

距離：約3万3600光年

M76（惑星状星雲）

M27「あれい状星雲」を小さくしたような形に見えることから、「小あれい星雲」と呼ばれています。

NGCカタログでは２つの明るい部分のうち、北側がNGC651、南側がNGC650と二つの番号がつけられています。　距離：約2000～6000光年

NGC7331（銀河）

ペガスス座の前足のあたりにあり、9.5等と明るい銀河です。アンドロメダ銀河を小さくしたような姿を見ることができます。
ここから0.5°南に、有名なステファンの五つ子があります。

距離：約4000万光年

ガーネットスター（恒星）

ケフェウス座にある恒星で、非常に赤い色をしていることから、ウィリアム・ハーシェルによりガーネットスターと名付けられました。もうじき寿命を終えようとしている、赤色超巨星のひとつです。

距離：約5260光年

ちょっとマニア
・NGC1514（惑星状星雲）

おうし座にある惑星状星雲で、クリスタルボール星雲という愛称があります。

りくり望遠鏡で青色の星雲の濃淡を確認することができます。

距離：？

その他おすすめ

- M2（球状星団）
- M27（惑星状星雲）
- M31（銀河）
- M57（惑星状星雲）
- アルビレオ（重星）
- フォーマルハウト（恒星）

11・12月の銀河の森天文台カレンダー

11月

日	月	火	水	木	金	土
			1	2	3	4
5	6	7	8	9	10	11
12	13	14	15	16	17	18
19	20	21	22	23	24	25
26	27	28	29	30		

12月

日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24/31	25	26	27	28	29	30

開館時間

14:00～22:30
（4月～9月）

13:00～21:30
（10月～3月）

休館日